



平成31年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月5日

上場会社名 株式会社 THEグローバル社
 コード番号 3271 URL <http://www.the-g.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 永嶋 秀和
 (氏名) 岡田 一男
 TEL 03-3345-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年6月期第2四半期の連結業績(平成30年7月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年6月期第2四半期	6,654	31.9	838		1,375		998	
30年6月期第2四半期	9,764	2.5	146		515		361	

(注) 包括利益 31年6月期第2四半期 1,077百万円 (%) 30年6月期第2四半期 340百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年6月期第2四半期	73.84	
30年6月期第2四半期	26.82	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年6月期第2四半期	55,073	7,904	14.2	579.77
30年6月期	45,881	9,320	20.2	684.51

(参考) 自己資本 31年6月期第2四半期 7,837百万円 30年6月期 9,252百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年6月期		0.00		25.00	25.00
31年6月期		0.00			
31年6月期(予想)				25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年6月期の連結業績予想(平成30年7月1日～平成31年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,863	23.5	4,216	1.4	3,396	4.1	2,256	12.5	166.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年6月期2Q	13,518,600 株	30年6月期	13,517,400 株
期末自己株式数	31年6月期2Q	76 株	30年6月期	76 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年6月期2Q	13,517,532 株	30年6月期2Q	13,470,263 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束するものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により異なる可能性があります。業績の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、[添付資料]3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部弱含み傾向にあった輸出・生産は災害影響収束により緩やかに持ち直し、継続する高水準の企業収益や良好な雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループが手がけるホテル業界におきましては、7月～9月に大きく減少した訪日外国人需要が10月以降持ち直し、2018年の訪日外国人旅行者数3,119万人を記録し6年連続で過去最高を更新しました。

このような状況下、当社グループでは、京都河原町エリアにおいて、営業開始の準備を進めておりましたディスタレスト・ホテル（分散型ホテル）『ENSO ANGO（エンソウ アンゴ）』の運営を開始いたしました。（当社子会社である株式会社グローバル・エルシードが開発し、株式会社グローバル・ホテルマネジメントとアンゴホテルズ株式会社が運営いたします。）また、当第2四半期連結会計期間において、京都府内のホテル用地3物件を取得いたしました。

不動産事業におきましては、首都圏の分譲マンションの価格は高止まり、分譲戸建の価格は上昇傾向にあります。ほぼ横ばいを保っていた契約率は都心部においても下降し、首都圏全体で需要の減少となりました。収益・投資用不動産では、個人投資家向けの木造収益不動産の弱含みが継続しておりますが、RC造収益不動産、区分所有マンションは旺盛な状況が続いております。

当社グループでは、引き続き都心を中心とした実需コンパクトマンション、投資用マンション、収益物件の用地仕入れに取組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高6,654百万円（前年同期比31.9%減）、営業損失838百万円（前年同期は146百万円の損失）、経常損失1,375百万円（前年同期は515百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失998百万円（前年同期は361百万円の損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績は以下のとおりであります。

[マンション事業]

マンション事業におきましては、「ウィルローズ王子」、「森下ワンルームマンション」等、合計33戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高2,396百万円（前年同期比41.3%減）、営業利益423百万円（前年同期比27.0%増）となりました。

[ホテル事業]

ホテル事業におきましては、当第2四半期連結累計期間における引渡実績はありません。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高162百万円（前年同期比66.2%減）、営業損失825百万円（前年同期は136百万円の損失）となりました。

[戸建事業]

戸建事業におきましては、「板橋区東新町2期プロジェクト」、「川口市芝中田2期プロジェクト」、「八王子市狹間町プロジェクト」等、分譲62戸、請負工事5戸、計67戸の引渡しを行いました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高3,706百万円（前年同期比23.2%減）、営業損失31百万円（前年同期は166百万円の利益）となりました。

[販売代理事業]

販売代理事業におきましては、自社開発及び他社開発物件の販売代理を行い、地域別の引渡実績は、東京都区部17物件37戸、東京都下2物件2戸、神奈川県2物件9戸、埼玉県2物件3戸、千葉県1物件2戸、合計24物件53戸となりました。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高97百万円（前年同期比59.0%減）、営業損失128百万円（前年同期は54百万円の損失）となりました。

[建物管理事業]

建物管理事業におきましては、平成30年12月31日現在のマンション管理戸数が3,396戸となります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高219百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益28百万円（前年同期比16.1%減）となりました。

[その他]

その他としましては、不動産賃貸事業及びゴルフ練習場運営等による収入であります。

以上の結果、当セグメントにおける業績は、売上高87百万円（前年同期比103.9%増）、営業利益38百万円（前年同期比180.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ9,192百万円増加し、55,073百万円となりました。負債については前連結会計年度末から10,607百万円増加し、47,168百万円となりました。また、純資産については前連結会計年度末から1,415百万円減少し、7,904百万円となりました。前連結会計年度末からの主な変動要因は以下のとおりであります。

資産の主な変動要因については、現金及び預金が3,127百万円減少、仕掛販売用不動産が11,438百万円増加、また販売用不動産が474百万円減少したことによるものであります。

負債の主な変動要因については、有利子負債が11,789百万円増加、未払法人税等が955百万円減少したこと等によるものであります。

また、純資産の主な変動要因としては、利益剰余金が1,336百万円減少したことによるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ3,165百万円減少し7,562百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失1,375百万円、法人税等の支払額1,119百万円、たな卸資産の増加額11,094百万円、仕入債務の減少額251百万円を主要因として、13,654百万円の支出（前年同期は6,363百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、貸付けによる支出450百万円、有形固定資産の取得による支出396百万円を主要因として、906百万円の支出（前年同期は1,950百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の純減額546百万円、長期借入れによる収入16,437百万円、長期借入金の返済による支出4,403百万円、配当金の支払額338百万円を主要因として、11,419百万円の収入（前年同期比2.1%減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年6月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年8月7日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

当連結会計年度におきましては、第4四半期に全体の約7割の引渡しが集中するため、契約進捗のお知らせをいたします。

当第2四半期連結会計期間末の物件販売における契約進捗については、以下のとおりとなります。

なお、ホテル運営・管理・その他の収入を除いた物件販売に係る売上高を基にしております。

物件販売に係る売上高 (通年予算)	契約進捗高	契約進捗率
45,478百万円	12,965百万円	28.5%

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,970,044	7,842,470
売掛金	20,893	44,709
販売用不動産	7,600,604	7,126,448
仕掛販売用不動産	22,221,216	33,659,988
前払費用	571,742	820,316
その他	719,961	910,368
流動資産合計	42,104,463	50,404,301
固定資産		
有形固定資産	1,735,221	2,134,830
無形固定資産	7,703	5,494
投資その他の資産		
投資有価証券	610,057	528,327
破産更生債権等	218,929	218,809
長期貸付金	369,137	383,888
繰延税金資産	141,897	698,772
その他	927,712	942,965
貸倒引当金	△233,929	△244,185
投資その他の資産合計	2,033,803	2,528,578
固定資産合計	3,776,729	4,668,903
資産合計	45,881,193	55,073,204
負債の部		
流動負債		
買掛金	619,205	367,604
短期借入金	8,059,977	7,513,583
1年内返済予定の長期借入金	8,026,295	16,914,702
1年内償還予定の社債	1,290,800	1,578,000
未払金	286,583	198,527
未払法人税等	1,111,905	156,492
未払消費税等	62,160	58,216
前受金	591,838	878,920
賞与引当金	13,079	13,586
その他	364,179	241,894
流動負債合計	20,426,024	27,921,528
固定負債		
社債	267,000	286,000
長期借入金	15,247,823	18,394,172
繰延税金負債	413,319	394,099
その他	207,009	172,777
固定負債合計	16,135,153	19,247,049
負債合計	36,561,178	47,168,577

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	404,444	404,731
資本剰余金	1,350,673	1,350,960
利益剰余金	7,413,524	6,077,451
自己株式	△33	△33
株主資本合計	9,168,608	7,833,110
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	80,118	5,176
為替換算調整勘定	4,073	△675
その他の包括利益累計額合計	84,191	4,501
新株予約権	67,214	67,015
純資産合計	9,320,014	7,904,626
負債純資産合計	45,881,193	55,073,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
売上高	9,764,952	6,654,655
売上原価	8,091,093	5,438,404
売上総利益	1,673,858	1,216,251
販売費及び一般管理費	1,820,115	2,055,203
営業損失(△)	△146,256	△838,951
営業外収益		
受取利息	5,306	6,051
受取手数料	5,553	3,996
解約精算金	2,000	1,200
為替差益	22,462	28,408
受取地代家賃	3,166	15,576
その他	9,297	12,078
営業外収益合計	47,787	67,312
営業外費用		
支払利息	181,842	263,808
持分法による投資損失	10,434	111,924
支払手数料	187,569	187,078
その他	36,758	41,442
営業外費用合計	416,604	604,253
経常損失(△)	△515,073	△1,375,893
特別利益		
関係会社清算益	8,787	—
特別利益合計	8,787	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△506,285	△1,375,893
法人税、住民税及び事業税	50,282	163,972
法人税等調整額	△195,303	△541,726
法人税等合計	△145,021	△377,753
四半期純損失(△)	△361,264	△998,140
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△361,264	△998,140

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
四半期純損失(△)	△361,264	△998,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,237	△74,941
為替換算調整勘定	△6,522	△4,749
その他の包括利益合計	20,715	△79,690
四半期包括利益	△340,548	△1,077,830
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△340,548	△1,077,830

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年7月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△506,285	△1,375,893
減価償却費	30,981	68,613
賞与引当金の増減額(△は減少)	3	507
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120	△770
受取利息及び受取配当金	△5,637	△7,360
支払利息	181,842	263,808
為替差損益(△は益)	△7,153	△3,253
持分法による投資損益(△は益)	10,434	111,924
関係会社清算損益(△は益)	△8,787	—
売上債権の増減額(△は増加)	129,367	△23,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,362,239	△11,094,111
前払費用の増減額(△は増加)	△841	△221,529
長期前払費用の増減額(△は増加)	245	64
未収消費税等の増減額(△は増加)	15,245	△11,963
仕入債務の増減額(△は減少)	△278,250	△251,615
未払金の増減額(△は減少)	△46,963	△94,330
未払消費税等の増減額(△は減少)	△118,939	△3,943
未払費用の増減額(△は減少)	△62,759	△83,249
前受金の増減額(△は減少)	149,924	287,081
預り金の増減額(△は減少)	△2,249	△81,200
その他	87,524	203,249
小計	△5,794,659	△12,317,786
利息及び配当金の受取額	7,166	7,360
利息の支払額	△167,689	△286,948
法人税等の還付額	—	61,802
法人税等の支払額	△408,659	△1,119,060
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,363,842	△13,654,632

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	20,520	6,120
定期預金の預入による支出	△41,950	△47,750
担保預金の預入による支出	△6,000	—
貸付けによる支出	△160,300	△450,400
有形固定資産の取得による支出	△1,478,328	△396,883
差入保証金の回収による収入	44,880	30,772
差入保証金の差入による支出	△61,180	△16,215
出資金の払込による支出	△196,110	△100
保険積立金の積立による支出	△2,150	△2,101
投資有価証券の取得による支出	△69,725	△30,000
関係会社株式の取得による支出	△350	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,950,693	△906,558
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,726,550	△546,394
長期借入れによる収入	11,584,720	16,437,860
長期借入金の返済による支出	△4,572,508	△4,403,104
社債の発行による収入	1,263,445	1,364,274
社債の償還による支出	△107,800	△1,093,800
新株予約権の行使による株式の発行による収入	4,131	375
リース債務の返済による支出	△741	△741
配当金の支払額	△228,964	△338,521
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,668,833	11,419,948
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,571	△23,937
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,360,868	△3,165,180
現金及び現金同等物の期首残高	6,093,177	10,727,776
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,454,046	7,562,596

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	4,081,588	481,563	4,828,343	115,048	215,601	9,722,145
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	122,300	—	122,300
計	4,081,588	481,563	4,828,343	237,349	215,601	9,844,446
セグメント利益又は損失 (△)	333,441	△136,082	166,634	△54,298	34,443	344,138

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	42,807	9,764,952	—	9,764,952
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	122,300	△122,300	—
計	42,807	9,887,253	△122,300	9,764,952
セグメント利益又は損失 (△)	13,662	357,800	△504,057	△146,256

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△504,057千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△504,057千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年7月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					
	マンション 事業	ホテル 事業	戸建 事業	販売代理 事業	建物管理 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,396,921	162,840	3,706,654	81,805	219,149	6,567,371
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	15,570	—	15,570
計	2,396,921	162,840	3,706,654	97,375	219,149	6,582,941
セグメント利益又は損失 (△)	423,343	△825,045	△31,046	△128,445	28,904	△532,289

(単位：千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	87,284	6,654,655	—	6,654,655
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15,570	△15,570	—
計	87,284	6,670,225	△15,570	6,654,655
セグメント利益又は損失 (△)	38,382	△493,907	△345,044	△838,951

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、ゴルフ練習場運営等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△345,044千円には、未実現利益の調整額等△6,000千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△339,044千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務人事・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。